



つつじが丘通信

第43号
発行
つつじが丘コミュニティ
広報部会通信編集部

交流の場から助け合い活動へ

福祉部会
松下邦雄



現在の部員は、民生・児童委員10名と食生活改善推進協議会、更生保護女性会の地区代表2名で構成されています。更に重要な支援部隊として民生・児童委員OB7名の協力員と、昼食調理ボランティア9名の応援を受け28名で運営しています。(事業内容はコミュニティ総会資料をご覧ください)交流会の参加者は70名程と年毎に増えています。スタッフはお世話できる喜び、ボランティアとしての遣り甲斐を感じ、また参加された多くの方より気遣いや感謝の言葉を頂いています。より和やかで楽しいひと時にと、演目・昼食メニューなど試行錯誤を繰り返しています。当地区も5自治区で交流サロンが開設され、助け合いの場として地域ケアでの要となりつつあり、部会との連携も必然と思われる。

利用者も担い手として相互が支え・助け合う事が必要でしょう。自分の幸せが第一ですが他人の幸せ(福祉)も配慮頂ければと願っています。

地域との交流

文化部会
土橋 隆



文化部会は、みこし保存会、手打ちそばクラブ、つつじが丘音頭保存会が中心となって活動を行っています。

今回は、その中のみこし保存会の活動を少し紹介いたします。24年前地域の祭りを盛り上げるため厄年会として設立し、現在はみこし保存会として約80名が活動しています。

主な活動は、「コミュニティ本神輿の管理運営」「秋祭り実行委員長、副委員長担当と運営」「本神輿ルート点検と清掃」「秋祭り餅投げ」です。

恒例になりました秋祭り餅投げは、厄年の方が年会費と出店で稼いだお金で厄を払うために投げています。

このメンバーは、祭りつつじが丘が好きな集まりで皆楽しく活動しています。

活動してみたい方は、随時募集していますのでコミュニティ事務所か、祭りの時メンバーに声をかけて下さい。

さて、今年度も盆踊り・秋祭り・文化祭が盛大に開催されますので、地域交流と古里作りの場であるお祭りにご参加下さい。

ああ運動会

体育部会
杉浦照久



本年度から運動会の開催が例年の9月半ばから6月へと変更になりました。他地区も含めてこの時期に行われるのは初めてなのだと思います。同じ運動会ですが、慣れないせいかわかりませんが、思いの頭を整理しつつ、私達委員も準備の段階へと入りました。

早くも聞こえてきます。「大変だ！」そうなんです。ほんとうに大変だと思います。どんなに否定しても、当番、役員等々はすぐに回ってきます。私はもうずっとあきらめと開き直りの境地です。そこでどうでしょう、これまでの運動会の場面を思い出してみれば。「楽しかった」「あの人誰だった?」「名前を思い出せないけれど久しぶりに話ができたら」「感動もした」「一生懸命応援もした」そうです。よかったです。事も数多くありました。皆さん出番です。自身にも言い聞かせます。

「年寄りばかりで出る人がおらん」今さら言っても始まりません。みんなそうです。私も年を重ねました。写真を見たら、ため息がでます。でも動けるのは今です。よね? 明日はないかも。お互いに立場は違っても、一緒に準備から大会当日、そしていつまでも語れるように積極参加してみようではありませんか。

広報誌で地域の活発化を

広報部会
向井靖彦



今年度広報部会長を務めさせて頂く事になりました向井と申します。

つつじが丘四丁目に来て3年目で町内会副会長、そして4年目である今年度は広報部会長と、地域活動の中核での貴重な体験をさせて頂ける事、大変嬉しく思います。

さて、広報部会の役割はコミュニティ関連行事や様々なイベント取材してコミュニティ広報誌である「つつじが丘」(年2回)と「つつじが丘通信」(年4回)を発行する事です。各町内から選出された7名にて毎月開催の定例会議を通じ、広報誌の作成や盆踊り・秋祭り・運動会・文化祭等の街宣活動、写真撮影の担当を決め活動しています。

コミュニティの看板である広報誌を通じ、少しでも地域活動の活発化に繋がるよう尽力したいと思います。

ひこばえ

環境安全部会

杉江俊彦



新しい年度が始まりました。つつじが丘の街にも、ピカピカの子ども達が、大はしゃぎで遊んでいます。どうやらこの春から一年生の面々です。そしてこの子ども達が、やがて「つつじが丘」を故郷として育っていくのです。突然ですが、「スマホやめるか、大学やめるか」信州大学入学式で学長が言いました。入学式冒頭から、新入生もビックリです。今すごい普及率でスマホが伸びています。今年中には60%を突破するでしょう。スマホ依存症は子どもの知性・個性を奪う毒以外の何物でもなく、小学生でスマホを欲しがりまた買い与える親も現実だそうです。自分で考え、自分で行動し、自分で答えを探し出す事が、子どもの成長期には絶対必要です。いつでも、どこでも、何していても、スマホを手放せないでいる子ども達よ！貴重な自分の時間の浪費は止めた方がいい！歩いていても、電車でも、自転車でも、友達と話をしている、スマホの中にある答えにしか興味を示さず、どれだけの貴重な自分の時間と自分の人生で起こり得る奇跡を見逃してしまうのか。それは我々大人の責任です。子どもが成長していくために必要な経験をさせてあげる機会や、環境を創らなければいけない。早急に！まず私たちに来る事から、始めようではありませんか！

いざという時の為に

女性消防クラブ

石神香保里



女性消防クラブでは、部員ならではの色々な体験ができます。消防署での地震防災訓練、救命(AED)講習、火災予防活動、出初式への参加等があります。

いつ起きるかわからない災害時に、こうした体験・訓練をしていれば、とっさの行動が取りやすく必ず役立つ事があると思います。

つつじが丘の安心・安全なまちづくりの為に、やっけて良かったと思える1年にできる様、部員全員で頑張っていきたいと思います。

どうぞ宜しくお願いします。

「長寿部会にもっとご理解を」

長寿部会

鈴木孝司



長寿部会は発足以来4年を経過致しました。その間様々な高齢者向け行事を実施して参りました。各行事とも多数の方々にご参加頂きまずまずの成果を得てきたものと思っております。がしかし一つだけ大変気掛かりな現象があります。それはどの行事に於いても参加者の殆どが長寿会会員でそれ以外の方の参加が極めて少ないと言う事です。つつじが丘コミュニティに関わる全ての高齢者の活動の場として発足した長寿部会なのにこれでは目的を充分せ果たして居るとは言えません。6長寿会の会長が部会の役員を務め、運営して居りますので、「あ、あれは長寿会の行事だ」と誤解されている事がその原因かと思われま。

今後はその点を我々運営に関わる者として長寿部会本来の趣旨を広くPRし、高齢者であれば誰でも気軽に参加出来る部会にして行きたいと思っております。

さて、話は少し逸れますが、最近ある新聞記事を見て驚きました。我が国の人口減少と少子高齢化の件です。この10年間で人口が約百万人減ったそうです。多少ながらも増加しているは、東京・埼玉・千葉・神奈川・愛知・福岡・沖縄であとの40道府県は軒並み減少です。高齢化の進行も鮮明で65歳以上は110万人以上増加で14歳以下の2倍以上だそうです。総人口の26%を超え8人に1人が75歳以上だそうです。こんなデータを見て、今後益々我ら高齢者及び長寿部会の存在が微妙、かつ重要な立場となって来る事をひしひしと感じて居ります。

楽しく、参加、協力

女性部会

梶江洋子



女性部会未経験でありながら、昨年度副部会長、今年度部会長の役をさせて頂くことになりました。

活動として、各地区から選出された総勢20名の部員の方と共に夏の盆踊り・秋祭りのおでん作り・販売、また文化祭では、うどん・そば・コーヒー等の配膳をして行事に楽しんで参加、協力していきたいと思っております。

1年間、どうぞよろしくお祈りします。

新しい年度が動きだし、各町内や各部会も活動を開始しました。そこで今年度最初の「つつじが丘通信」43号では、例年の如く各町内・各部会の代表者の皆様に本年の活動や運営についてお話をお伺いしましたので写真と共にご紹介します。
(掲載は順不動・敬称略)

私の1年

1丁目町内会

会長 三林 展子



全国にときめきと、笑顔を振りまいた桜前線は、津軽海峡を渡り、長く寒さに耐え、肩寄せ合って待っていた北海道に、その歓喜の輪を振りまっています。つつじが丘では、桜の宴も終わり、新年度が静かにスタートしようとしています。

町内会長の役務を戴き、ためらいと緊張の「私の1年」が不安と後悔を道連れに、スタートしようとしています。町内の総会以降今日まで、「何も知らない、何もできない私が、何故この大役をお引き受けしたのか」自問自答しておりました。そんな時に、前会長から「桜の花は、桜を愛でる人すべてに、顔を向けている！」と聞いた事を思い出しました。男女協働の社会創りが叫ばれている今、女性の町内会長でも、あたりまえに普通の事にならなければ。まさにその社会を目指しているのだから……。今年度の役員さんはじめ、町内の住民の方々、桜の花の様に、みんな私に向いて咲いている！そんな風に割り切って考える事にしました。こうして来年の桜の開花の季節に向けて、「私の1年」が、いまスタートします。応援して下さい。

団地は小さな合衆国

朝倉団地自治会

会長 森川 徹介



春もたけなわ、藤棚に咲き誇る藤を眺めながら、ラジオ体操で1日が始まります。

昨年9月より始めたラジオ体操は、3月末で延べ1788人の参加者でした。

4月23日資源回収担当者15名で、リサイクルプラザと清掃センターへ視察研修に行きました。これは今年度資源回収の知多市方式を一部変更した為です。ゴミ減量化と資源回収により一層取り組む方針です。居住者皆様のご協力をお願い致します。

4月24日はサロンにて、高齢者の誕生会を開催。翌日は自童会による「新入生歓迎会」を楽しく催し、少子高齢化に 대응しています。

5月17日には、多文化共生の一環として「地震体験ツアー」を今年も実施します。地震のない国から来ている人達に、地震を体験してもらおう防災活動でもあります。ともあれ「みんなで協力しあい明るく住み良い朝倉団地を」の自治会のテーマの如く、今年も安全で安心な暮らしよい環境づくりを目指します。

皆様方と助け合い

2丁目町内会

会長 大谷 余止 春



風薫る季節となり、皆様方も過ごしやすくなる事だと思います。この地区での生活が7年程しか経験のない私が会長職を行う事は大変恐縮な思いと不安がいっぱいです。

しかし、私の周りにはこの町をよく知る町内役員を含む20名の評議員と町内関連5団体、地域・行政区役員の方々の心強い人達が多くおられます。みんなで力を合わせましてつつじが丘地区の皆様、2丁目にお住まいの皆様が安心して、安全に、楽しく暮らせる町に少しでもお役に立てればと思う気持ちで頑張る所存です。それでも色々な問題も出てきますが、そこは皆様と助け合い、解決していきたいと思っています。

皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

つつじが丘・2管

2丁目管理組合

理事長 大岩 誠



40年を経過した、つつじが丘2丁目管理組合では大規模修繕を控え色々対応しなければならない事が想定され、多忙な1年となります。

集合住宅の維持修繕は経年劣化が加わり、多岐に渡りますが、地区の景観に悪影響のないように進めたいと思います。

コミュニティ事業は先輩諸氏から何うにつけ、ここでも少子高齢化が進み、一部影響があると伺いました。では、どのような方策が良いのか、今後状況を把握して少しずつ改善できればと思います。

自然災害では東海・東南海・南海の3連動の大震災及び伊勢湾台風を上回るスーパー台風の襲来、経験がないものを想定してもなかなか理解できないのが本音です。

でも、悲観ばかりしていても仕様が無いので、まずは挨拶をし、ゴミを捨てない、何か手助けできるか声をかけ、住み良い街になるようみんなで一緒に頑張りましょう。

安全安心そして住みやすい 環境作りを目指して

3丁目町内会
会長 平松 濱夫



はからずも本年度町内会長を務める事になりました。もとより町内会の仕事は町内の安全安心と住みよう環境作りだと考えています。

今年度私たちが重点的に取り組みたい項目は、前年に引き続き災害発生時、災害弱者をよりの確に救済出来る完成度の高い「仕組み」作りと考えています。数年前より取り組んでいる「あんしんとなり組」制度が出来上がりつつありますが、まだまだ充分とは言えません。少子高齢化が進むなか、長寿会、子ども会、更に民生児童委員、駐在員の皆様のご意見を聞きながら進めていきたいと思っています。皆様のご協力をお願いします。

笑顔を忘れずに

4丁目町内会
会長 沖田 正和



長引いた春の雨も終わり、新緑の季節となりました。

つつじが丘の住民となり早41年、緑に囲まれた地区の環境は、近年大きく様変わり、同時に町内の若かった人達も(私も含め)子どもや孫の時代になって来ました。近年、頭の回転が悪くなる一方の私ですがそんな中今回4丁目町内会会長を引き受ける事となりました。行事も多く判らない事ばかりですが、諸先輩方に協力して頂き笑顔を忘れず精一杯努力して行きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

ボランティアの募集

コミュニティでは、次のボランティアを募集しています。

- ❖ コミュニティ事務局の運営を補佐していただくボランティアを1~2名程度募集します。
 - ① ボランティア精神にあふれている方
 - ② コミュニティ活動や行事に精通し、参加できる方
 - ③ 仕事を持っていない方
 - ④ 数年間継続できる方
 - ⑤ 自動車の運転とパソコンの操作ができる方
 当該年度で決めた委託料をお支払いします。
- ❖ コミュニティ事業「盆踊り」「秋祭り」「文化祭」等での、放送設備の設置と操作を担当するボランティアを1~2名程度募集します。
 - ① 簡易放送設備の操作等に興味のある方
 - ② ラジカセ等のオーディオに興味のある方
 - ③ 数年間継続できる方
 - ④ コミュニティや地域活動に関心のある方
 原則無報酬での活動となります。最初は、操作等のできる方が一緒に付いて説明します。

問い合わせ・申し込みは

コミュニティ事務局(事務局長 永井)まで
TEL・FAX 0562-55-6105

フンドシ締めて

4丁目管理組合
理事長 原 篤史



理想を追い続けて早や数年。あくせく働いていたら、いつの間にか30になっていた。

この1年、そう最後の年。何をどこまでやれるだろう。

人との結びつきそれは尚、継続していく。今年は更に組織力を高めていきたい。

私の理想は、常に困難なるものだが、少しずつでも積み上げていけば、きっと後世にも役に立つだろう。問題は次代だが、まあそんなことは考えていても始まらない。無下にされないだろうとは思う。

老人の多いこの町で、くだらない話をするのが、私は好きだ。互いに笑い合い、くだらない話をしていける町を作る為に、まだまだ働かなければいけないね。

そんな私が世間でどう言われているかは知らないが、私は私の信念に後悔する様な事は一つしていない。これからもそうさ。今年1年私がどんな動きをするか、楽しみにしておいてほしい。

泣いても笑っても後1年。理想の為に。信念の為に。男なら、フンドシ締めてブチかませ。